

地域福祉活動の「はじめの一歩」

基本目標Ⅰ

みんなが参加できる地域づくり



- 福祉関係や地域活動のイベント・講座などに参加してみる。
- サロン活動や子ども食堂などの活動に立ち寄ってみる。
- 得意なことや趣味を活かして、地域活動に関わってみる。

基本目標Ⅱ

誰も取り残さない地域づくり



- あいさつや声かけなど、ご近所とのつながりを大切にする。
- 困りごとを抱え込まず、誰かに相談してみる。
- 日頃から災害への備えや助け合いについて考えてみる。

基本目標Ⅲ

オール北九州で取り組む地域づくり



- 地域福祉活動にボランティアで参加し、人とのつながりを広げる。
- 寄付や募金など、できる形で地域福祉活動を応援する。
- 福祉に関するアンケートや調査に協力してみる。



プチボザウルス

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現には、地域の皆さんの一人ひとりがとても大きな力になります。

できる範囲で、できるときに、できることを一緒に取り組んでいきましょう。

北九州市地域福祉活動第7次計画(2026~2030年度) 概要版

(令和8年3月発行)

社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 福岡県北九州市戸畑区汐井町1番6号

■ 北九州市地域福祉活動計画についてのお問合せ
地域福祉部 Tel (093)882-4425/Fax (093)873-1351

■ 北九州市社会福祉協議会についてのお問合せ
代表(総務企画部) Tel (093)882-4401/Fax (093)882-3579



YouTube



Instagram



みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり

北九州市地域福祉活動第7次計画(2026~2030)
概要版



社会福祉法人
北九州市社会福祉協議会

1 地域福祉って何だろう？

地域には、子どもから高齢者まで、さまざまな人が暮らしています。年齢や立場、国籍、障害の有無などはそれぞれ違いますが、同じ地域でともに生活しています。

地域福祉とは、だれもが住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域の皆さんが互いに支え合い、助け合うしくみや活動のことです。

また、地域福祉はそれぞれの地域にお住いの住民の皆さんだけが行うものではありません。社会福祉協議会をはじめ、民生委員・児童委員、福祉施設、学校、企業、行政など、さまざまな人や団体が協力し合って進めていくものです。

2 地域福祉活動計画とは？

社会福祉協議会が呼びかけ、地域の皆さん一人ひとりが地域福祉を担う一員として、自分のまちについて考え、みんなで住みよい地域づくりを行っていくことを目的として策定する、**住民みんなの計画**です。

3 計画の位置づけ

4つの性格

- ◆ **福祉課題解決のための多様な主体による行動計画**
地域の皆さんと関係団体が一緒になって、より良い地域にしていくための計画です。
- ◆ **住民に身近な小地域を原点とした、住民主体の実践となる計画**
地域の皆さんの生活を支えることを活動の原点とした計画です。
- ◆ **社会福祉協議会の活動指針となる計画**
社会福祉協議会が地域福祉を進める中核団体として活動する計画です。
- ◆ **行政計画(地域福祉計画など)と連携して推進する計画**
北九州市の諸計画と連携して、地域福祉を進めるための計画です。

計画の推進主体

本計画は、北九州市社会福祉協議会が中心となって、地域の皆さんの主体的な参加のもと、地域福祉に関係する機関・団体と協働しながらこの計画を進めます。

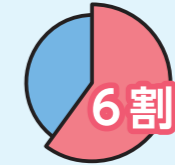
4 北九州市の現状と課題

31.6%
※1



全国的に少子高齢化が進む中、本市は政令市の中で、最も高い高齢化率となっています。

担い手不足



地域活動が抱えている問題について※2、約6割が「地域の担い手不足」と回答しました。

若い世代が自分の興味・関心から福祉に関わったり、高齢者や障害のある人も、みんなが気軽に参加できる地域をつくりたい！



53.9%



近所の人同士との「つながり」や「支え合い」を感じると答えた人は減少しています。※2

429人
※3



本市でも、災害が発生しており、災害ボランティアは被災地を支える大きな力となっています。

日頃から誰かとつながっておくことで、いざという時も、地域の中で支え合い、安心して暮らしたい！



推計約
12,400人
※4



本市では、様々な理由から、広義の引きこもり状態にある人がいます。

単身の高齢者



身寄りのない高齢者などが、日頃から人生の最期まで安心して暮らせる支援が求められています。

様々な地域の困りごとに対応できるよう、関係団体で連携し、解決に向けて取り組める体制をつくりたい！



福祉の大きな転換期を迎える2040年※5を見据えた計画へ

※1 北九州市の人口(町別)年齢別(令和7年9月30日現在)における高齢化率

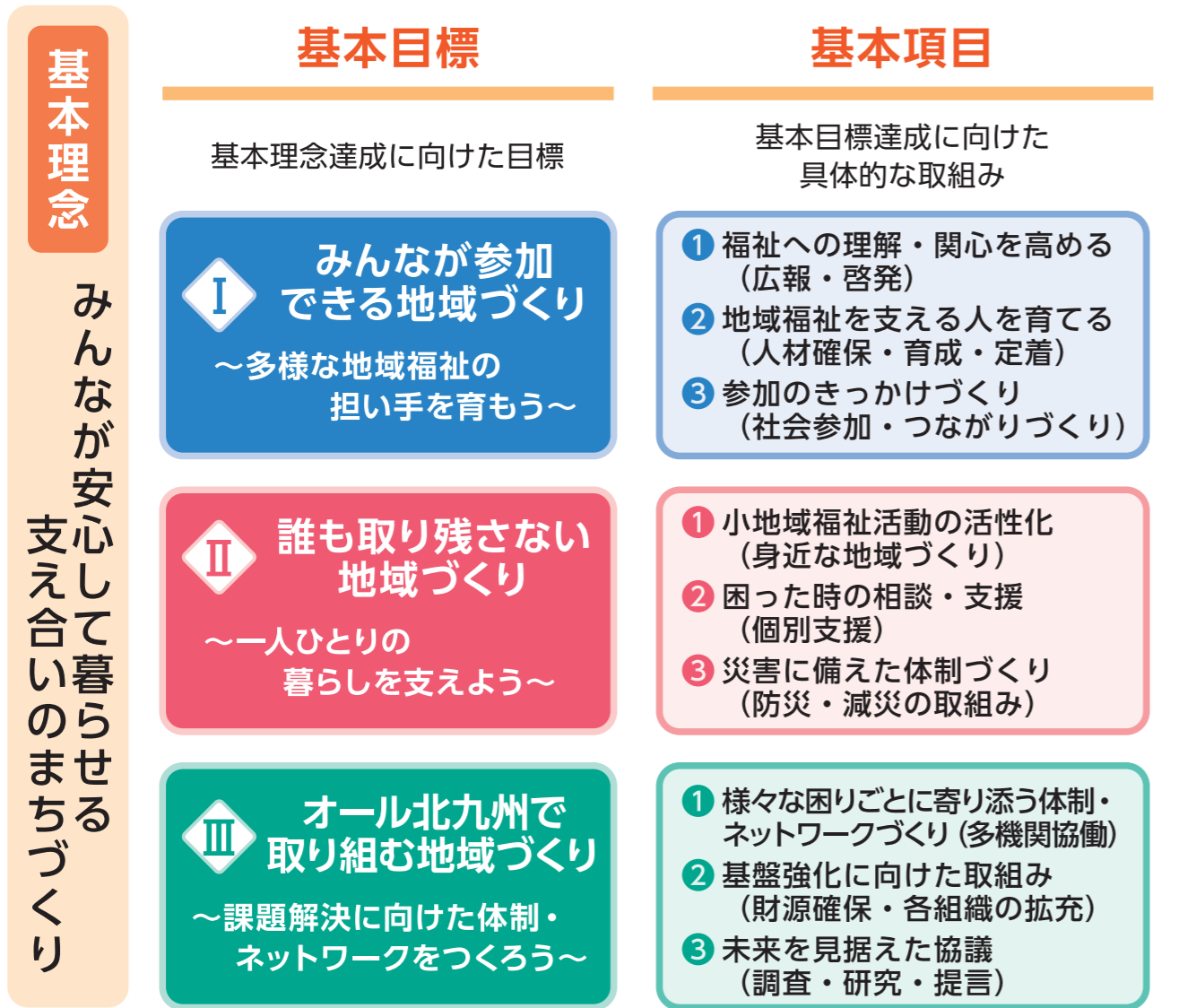
※2 令和6年度 北九州市地域福祉に関する市民意識調査

※3 社会福祉法人北九州市社会福祉協議会 令和6年度事業報告

※4 令和3年度 生活状況に関する実態調査(ひきこもり等実態調査)

※5 2040年は、団塊ジュニア世代が65歳を迎え、高齢者人口がピークとなる一方、現役世代の人口が今よりも減少し、介護や地域での支え合いの人材が不足するなど、日本全国で深刻な社会問題に直面するとされています。

5 第7次計画の体系図



誰もが地域の一員として関わり、互いに支え合う地域づくりへ

右図の中心には、福祉への理解や関心を高め、人を育て、参加のきっかけをつくる取組みを示しています。

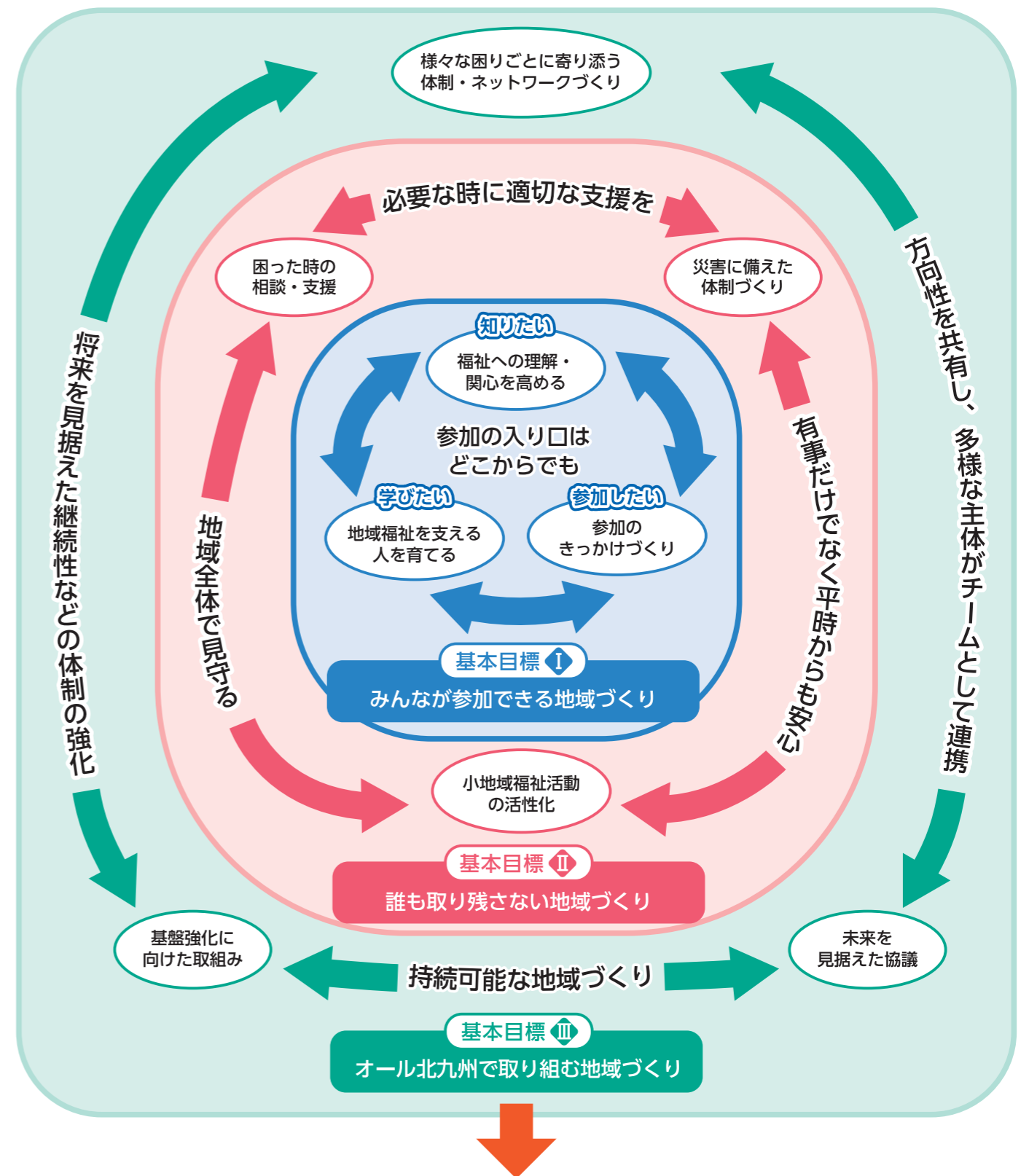
「知りたい」「学びたい」「参加したい」という思いを入口として、誰もが地域福祉に関わることが出来ることを示しています。

こうした参加の広がり、小地域福祉活動の活性化や困りごとを相談できる地域づくり、災害に備えた体制づくりなど、地域で支え合う仕組みづくりへとつながります。

さらに、地域団体や社会福祉施設、NPO、企業など多様な関係団体が連携することで、地域全体で支え合う体制が強化されていきます。

これらの取組みは一方向に進むものではなく、参加の広がりが支え合いの活動、さらに新たな協働につながるなど、互いに寄り合っています。

6 参加から広がる地域福祉のしくみ



基本理念

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」
「地域共生社会」と「SDGs」の実現へ

7 基本項目の内容

基本目標Ⅰ みんなが参加できる地域づくり ～多様な地域福祉の担い手を育もう～

基本項目① 福祉への理解・関心を高める (広報・啓発)

誰でも気軽に情報入手できる環境づくりや、理解を深めるための福祉教育・出前講演などを行います。



小学校でのふくしの出前授業

基本項目② 地域福祉を支える人を育てる (人材確保・育成・定着)

活動に参加したいと思えるような学び・体験の機会を広げ、多様な人が継続的に関われるしくみをつくります。



中学生への認知症サポーター養成講座

基本項目③ 参加のきっかけづくり (社会参加・つながりづくり)

身近な拠点を活用した、居場所づくりや、社会へ一歩踏み出したい方の自立・社会参加の支援などを行います。



社会福祉施設で開催されるサロン

基本目標Ⅱ 誰も取り残さない地域づくり ～一人ひとりの暮らしを支えよう～

基本項目① 小地域福祉活動の活性化 (身近な地域づくり)

見守りや助け合いの活動を通じ、ちょっとした困りごとにいち早く気づき、住民同士が支え合う地域づくりを進めます。



ふれあいネットワーク活動(見守り)

基本項目② 困った時の相談・支援 (個別支援)

身近な場所で、気軽に相談できる環境をつくり、必要な支援へつなげることで、地域での孤独・孤立を防ぎます。



地域の中で受けた相談を支援へつなげる

基本項目③ 災害に備えた体制づくり (防災・減災の取組み)

日頃の取組みを活かし、関係団体と話し合いながら、災害ボランティア活動の支援を行うなど、災害時に備えます。



豪雨災害でのボランティア活動

基本目標Ⅲ オール北九州で取り組む地域づくり ～課題解決に向けた体制・ネットワークをつくろう～

基本項目① 様々な困りごとに寄り添う体制・ネットワークづくり(多機関協働)

福祉分野に限らず、多様な団体が連携して、地域の福祉課題に対応する体制をつくります。



大学生と連携した捜索訓練

基本項目② 基盤強化に向けた取組み (財源確保・各組織の拡充)

地域福祉活動の拡充に向けて、安定した運営基盤の構築や、組織体制の強化・連携を進めます。



赤い羽根共同募金(街頭募金)

基本項目③ 未来を見据えた協議 (調査・研究・提言)

市民の声や社会状況の変化をふまえ、福祉ニーズや地域の課題に対応する持続可能な地域づくりを進めます。



地域の課題とその支援を考える